

会報 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所
松本県ヶ丘高校東京同窓会
〒151-0063 東京都渋谷区
富ヶ谷2-2-5ネオパ302号
TEL 03-3466-2246
TEL 03-3466-6201
発行人： 濱 徹

悠久の発展を



東京同窓会会長
大澤清重(中13)

ました。この新体制により新役員が一致団結して当同窓会の会員の増強、財政基盤の安定と活性化が強力に推進されるものと信じております。会員各位のご支援をお願いします。

政治の不安定と経済不況の中、本年二月長野で盛大に開催されました冬期長野オリンピック大会は暗い社会に大きな感動と明るい平和の心をあたえてくれました。大成功でした。

早いものでもう第31回総会を迎えることになりました。昨年東京同窓会の組織強化と発展を図るため第30回総会で会則並びに細則の一部変更を行ない、これに基づいて各回生より幹事、常任幹事を選出していただき、さらに代表幹事制を導入しました。

わが母校松本県ヶ丘高校も本年はめでたく創立75周年記念の大きな節目の年を迎えます。母校の限りなき発展を願ってやみません。松本の同窓会本部は平成15年の母校創立80周年記念を目標に大がかりな記念事業の推進を計画しておりますのでその節は各位のご協力をぜひお、

「あがた」

東京同窓会名誉会長

樋口和博(中1)

県ヶ丘の東京同窓会は、昭和二十二年頃発足したが、その中心の青柳季男君(第二回)が病氣になったことから一時中断のやむなきに至った。

ところが、その後在京同窓会生の間から再会して欲しいとの強い要望があり、昭和四十三年頃熱意ある多くの同窓生が自分の仕事も忘れるほど熱心に努力を重ねて東京同窓会が再出発し、私は約十三年間に亘りこの会の御手伝いをして来たが、その後故根元静夫君、現会長大沢清重君などの極めて清新強力なスタッフに引き継がれ、最近では卒業年度回毎に若い世代の人達が責任をもって運営することになり、それぞれ特長のある素晴らしい集まりを持つようになった。そしてその都度内容の豊かな会報「あがた」が発行され母校の状況、同窓生の意見など、願っています。

さて私は永年本同窓会の会長を徹力ながら務めさせていただきましたが、本総会で任期が満了しますのを機に辞任させていただきますことになりました。

役員ははじめ会員各位の皆様にご詳細に知ることができるようになった。

昨年の会報「あがた」に高校二十二回卒のH君が「最近サミエル、ウルマンの詩「青春」に感銘し、また若い頃から母校での「質実剛健」「大道を闊歩」「弱音を吐くな」の三つの誓いの言葉が私の心の支えとなっている」と書かれていた。ウルマンの詩の中から「青春とは心の若さである」等の言葉に心打られたものと思はれる。

私共はこの集まりの機会にお互いが持ち合わせる素晴らしきものを領ち合い助け合って今日からの生活に一つでも役立つ宝物を拾い出して持ち帰ると共に高校時代に立ち帰り心の若さを持ちつづけて欲しい。H君の言はれる三つの誓いを大事にして欲しい。

風が十字に荒ぶれ狂うような昨今、今日こそは高校時代に立ち戻ってあの校歌を声高らかに歌い私共あがたの団結と、高い希望と理想を誓い合って、明るくて正しい大道を肅々と闊歩して欲しいものである。

は大変ご支援ご協力をいただきまして心から御礼を申し上げます。

今後東京同窓会の悠久の発展と会員各位のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

大澤清重

大澤清重

大澤清重

大澤清重

大澤清重

第31回東京同窓会式次第

第一部 総会

- 一、開会辞
- 二、物故者(対し黙祷)
- 三、会費挨拶
- 四、議事
- ① 議長団選出
- ② 会務報告
- ③ 会費報告
- ④ 会費振替報告
- ⑤ 役員改選
- ⑥ その他

松本県ヶ丘
同窓会
代表幹事
大澤清重

第二部 懇親会

- 1. 校歌斉唱
- 2. 開宴の辞
- 3. 来賓(紹介)
- 4. 来賓挨拶
- 5. 乾杯
- 6. 祝電披露
- 7. 祝電・懇親会イベント
- 8. 「信濃の国」斉唱
- 9. 名簿編纂及び
- 10. 五年委員会活動報告
- 11. 次回実行委員の紹介と
- 12. 引継ぎ
- 13. 手締め
- 14. 閉会の辞

大澤清重

祝 母校75周年

— 卒業30周年記念事業順調にスタート —

実行委員長

佐藤 兼平 (高20)

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会の皆様、ありがとうございます。

私も、二十期生による「母校・愛のリレー」が、四月十八日実施され、そして改めてスタートすることができました。

卒業三十周年事業を縁に、一昨年より再び頻りに逢うようになりました。

一人でも多くの仲間を募ろう、一人でも多くの仲間の感謝の気持ちを集めよう、と同期の仲間が忙しい中、それぞれの立場で、名簿の整理、募金活動、企画や記録といった地道な作業を重ねてくれました。

卒業から三十年

この事業を通じ改めて思



うんです。何よりも大切な友達存在、あたたかさ、そしてこんなに私の私たちの原点がこの県ヶ丘高校にあったことを。

また卒業三十周年という節目の年に自らの半生を振り返り、つぎの世代にどのような社会を残し伝えるか、そのために残りの人生をどう生きるか、考える機会を与えていただきました。

「県陵 ありがとうございます」

みんなで協力し一つ事を成し遂げた喜びでいっぱいです。

七月十九日、懇親ゴルフ会の実施、七月二十日「海の日」には、「手仕事屋さち兵衛チャリティーコンサート」を行い、総会、祝賀会を計画しております。

これからスタートする20期生の会をよろしくお願ひ申し上げますとともに、東京同窓会の益々のご発展を心からお祈りしご挨拶いたします。

創立75年を祝す!

80年に向かって

実行委員(事務局長)

掛川 有一 (高20)

母校創立75年の年、卒業30年を迎えた。先輩からリレーされた「愛のリレー」に携わることができ、改めて卒業30年を振り返ることができた。卒業と同時に社会に出たこともあり社会生活も30年となるが、この間時々思い出されたことは、

質実剛健であれ

大道を闊歩せよ
弱音を吐くな

の校訓であった。

自分の弱さに直面した時は、「弱音を吐くな」と自身に言い聞かせ、道に迷った時は、「大道」をいこうと心に決め、迷いははらいのけたこともあった。自身に華美が見えた時は、「質実剛健」と言い聞かせました。

今思えばいつの時も自分を見失うことなく導いてくれた指針であり道標(ミチシルベ)でもあったように思う。

これからの30年も陰に陽に教えてくれることは間違いないありません。

母校に感謝しつつ創立80年に向けて自身もゆつくり闊歩していきたい。

祝第31回東京同窓会

森山修二

(高校1回卒)

福祉法人 特別養護老人ホーム
株式会社 きらく苑 監査役
株式会社 オギタツ 取締役

国際ラ・テ製作株式会社

代表取締役 大澤清重

(中学13回卒)

(株) エフエム東京取締役
(財) 蓮根文化会館理事長

〒174-0046 東京都板橋区蓮根2-13-9
電話03-3966-5481

弁護士

樋口和博

(中学1回卒)

事務所 〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-5
市ヶ谷法曹ビル203号室
TEL.03-3230-4005
自宅 〒157-0067
東京都世田谷区善多見町5-21-15
TEL.03-3416-2904

県立75周年に思う 実行委員(総務担当)

成田 昭廣(高20)

松本県ヶ丘高校創立75周年おめでとうございます。早いもので我々が母校を巣立って30年を迎え、今年先輩方から受け継がれた「卒業30年愛のリレー」を行う年次になりました。2年前から実行委員会を作り準備をし、この4月18日(土)に母校県ヶ丘高校体育館に於いて創立75周年記念式典、ひき続き行われた記念講演には我々20期生を代表して「手仕事屋さち兵衛(伊東重喜)さんの歌と語りによる在校生へのメッセージを送り、多くの感動と共感を与え無事に終えることが出来ました。その後行われた祝賀会は松本勤労者福祉センターで開催され、学校長、同窓会会長はじめ多くの来賓の方々、また、東京同窓会20期生の代表の方々も遠路遙々参加して頂き、一三〇名余の参会者で盛会に執り行われましたことを嬉しく思っております。

今回我々20期生は、学校創立75周年、新制高校50周年、30周年愛のリレーといろいろな節目の年次の巡り合わせであり、ま

た平成10年オリンピックイヤー等々・・・。

思い起こせば我々の年次は団塊の世代の末尾で、在校中にはエレキブーム、ビートルズ、フォークソング、また学生運動の勃興時でも有り、高度経済成長期の真最中何ん自由無く青春期を送れた世代でもあり今から思えばありがたき良き時代ではなかったかと思われまます。今回母校への愛のリレー、そして我々20期生の友情の輪を広げる活動に若干でも参加できた事は私の30年間の節目として大変良かったと思うと同時に30年振りに会った友との再会、語らひは楽しいものでした。

この7月20日(海の日)に我々20期生の「県立俱樂部20」の発足総会、祝賀会を執り行う予定で準備をしております。また、総会の前に「県立俱樂部20」主催による「手仕事屋さち兵衛 チャリティーコンサート」を行い我々を育ててくれた「地域」への

感謝をこめて収益の一部を寄付する予定です。残された20期実行委員会の役を楽しみながらやっつていこうと思っております。

最近の県立周辺

20期学年会長

上條 恒嗣(高20)

母校を卒業して三十年の歳月が流れ、今年是我々の会が愛のリレーを担当することになりました。私は卒業以来同窓会とのパイプ役を勤めてきましたが、この大事業を実施するにあたり、過去の先輩の例に習い早めの実行委員会発足を行うべく各クラスの主だったメンバーに参加を呼びかけました。幸い我々の会

には佐藤君を始め、成田君、掛川君などその道の素晴らしい人材が揃い好スタートを切る事ができました。大成功に終わった母校での記念式典などの様子は実行委員長の佐藤君から報告があるうかと思

ますので私からは最近の県立周辺の様子をお知らせしたいと思います。

私の自宅は卒業した今も県立に最も近い所にあります。かつて県立の西側の角に「あがたラーム」がありました。春の応援練習や県立祭には在学の学生の声がかえってきます。(最近女子学生の声か男子学生のそれを上回っているような気がします)

県立の西側の景色で大きく変わったものは蚕糸公園との境にあったカラタチの垣根がフェンスとなつてしまつたことでしょうか。愛着があつた景色だっただけに一抹の寂しさを感じます。寂しさと言えば、県立街道を西に向つたところに「ばんじゅう屋」がありました。数年前に店を閉じてしまいましたが、また、松本城の近くに「竹の屋」も最近取り壊され、土土通りにあつた映画館「ピカデリー」も閉館となりました。

このように松本の街は、駅前再開発や女鳥羽の改修など都会化、若者の街として新たな活力を生み出していますが、ある面では静寂な懐かしい大切なものが年々減りつつある昨今です。



「県立俱樂部20」の発足総会、祝賀会を執り行う予定で準備をしております。

山岸光臣法律事務所

弁護士 山岸 光臣
(高校3回卒)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-14 第2東ビル8F 801号室 TEL 03-3255-2700 FAX 03-3255-2709

弁護士
石川 元也
(中学21回卒)

石川元也法律事務所

事務所 〒530-0047
大阪市北区西天満6-9-13高天原のエストビル
phone.06-362-2701 fax.06-362-2702
自宅 〒665-0841
宝塚市御殿山2-31-51-101
phone.fax.0797-85-0813

実行委員(募金部長)

大蔵 章男(高20)

昨年七月の募金活動開始以来、多くの同期生の皆さまから温かい協力を賜り、誠にありがとうございます。おかげ様で募金率70%以上、金額として四百万円を超える事が出来ました。

現在の景気状況を考えますと大成功ですし、今迄の先輩達の募金実績を上回り、県陵20期生としての責務を果たしたと思っております。

去る四月十八日、90余名の同期生が母校の創立記念式典にお邪魔し、皆さまからのご寄付をお渡しする事が出来ました。

又、記念講演は手仕事屋きち兵衛こと伊東重喜君が在校生に、歌と語りで見ずからの人生を振り返りながら、君達はどう生きるのか問いかけるすばらしいコンサートになりました。その後各クラス担任の先生方を囲んでの祝賀会では、久しぶりの再会に話がはずみ参加者様に30年前にタイムスリップし、楽しい一時を持つことが出来ました。

本当に有難うございました。又七月には総会並びに祝賀会が開催されます。大勢の同期の皆さまにお逢いできるのを楽しみにしております。

サブロー先生の一言

手仕事屋きち兵衛(高20)

三十年振りに訪ねた県陵は、否応なしに当時の自分自身が思い出されて、僕は懐かしいと言うよりも恥ずかしかった。

中学生の時に、草野心平に出会って詩が好きになり、ニニロツソに憧れてプラスバンド部に入

った僕は、国語と音楽が好きで、年少少年だった。そして、高校に入るとプラスバンド部がなかったために、ごく自然に音楽部に入った。それ

まで、歌うということにあまり興味を持ったことはなかったのだが、僕はここで合唱の魅力

にすっかり取り付かれて夢中になってしまった。自分の声がハーモニーとなり、響きの中に溶け込むと、皆の音が揃った瞬間には、自分の出している声までが聞こえなくな

ってしてしまうような、声の和音に埋没してしまう一体感がなんとも心地好かつた。合唱は文化部とは

いえ運動部に似ている。毎日の練習と、何よりもチームワークが大切で、部員は多くはなかつたけれど、上も下もなく仲良し

でとても楽しく、いつの間にか僕は、部室に入り浸り状態になっていた。それが、二年生の時の文化祭後に部の指揮者となっ

てからは、さらにエスカレートした。僕は、「指揮法」「和声学」「作曲法」などの本をいつも持って歩き、他の授業中にそれらを読み耽るようになり、ホームル

ームを無視し、掃除はさぼり、当然のことながら成績も最悪な状態となった。当時のクラス担任は渡辺三郎先生だった。先生

はサッカー部の顧問をされていて正義感が強く、規律を重んじる質実剛健な先生だった。そんな先生にとつて、クラスを無視

し、勉学を怠り、自分勝手にやっている僕は問題児であり、そのため先生からよく叱られよく殴られた。でも僕は自分を改

めようとはせず「俺の気持ちがああサブローになんぞ分かつたか」と却って意固地になり、

ますます先生からは心が離れるばかりだった。そして、高校生

活が終わりに近づいたある日、入試に失敗した僕は、先生から

職員室に来るようにと言われ、そこで、「おまえこれからどうするんだ？卒業生名簿の進路先を

白紙にしておくわけにはいかないだろう」と言われた。僕は、

「いいんです！自分のことは自分で決めますから放っておいて下さい！」と生意気な口をたたき職員室を出たきり、そのまま卒業してしまつた。

僕は、そう言つて高校は出たものの、実は悩みのどん底にいた。母子家庭だった我が家は貧しく、母の苦勞を思えば働くべきだと分かつてはいてもその気にもなれず、大学入試さえ通つていけば、やみくもにでも家を出て行けたのに、それも叶わず、僕は暫くぶらぶらしながら悶々としていた。そしてある日、母の前に改めて座り、反対されることを覚悟しながらこう言つた。

「俺、家が大変なのは分かつていてるけど、一年間でいいから遊ばせてくれないか。」すると母は「好きにすればいい」と、僕の覚悟をよそに、いともあっさりとして承知してくれた。

僕は、そう言つて高校は出たものの、実は悩みのどん底にいた。母子家庭だった我が家は貧しく、母の苦勞を思えば働くべきだと分かつてはいてもその気にもなれず、大学入試さえ通つていけば、やみくもにでも家を出て行けたのに、それも叶わず、僕は暫くぶらぶらしながら悶々としていた。そしてある日、母の前に改めて座り、反対されることを覚悟しながらこう言つた。

経営・税務の総合コンサルタント

金子信吉

公認会計士・税理士
金子公認会計士事務所

渋谷区富ヶ谷2-2-5 ネオーバ 302号
TEL 3466-2246 FAX 3466-6201

縣陵東京同窓会事務局 (高校17回卒)

タイガー印スポーツ用品

(株)タイガー
代表取締役 奥原 輝男

(高校15回卒)

〒113-0032 東京都文京区弥生2-5-3
岩間ビル1階

TEL (03) 3818-8251
FAX (03) 3818-8252

株式会社日本ビルワーク

〒112-0004 東京都文京区後楽2-7-5
糸平飯田橋ビル
TEL.03-5684-9977
FAX.03-5684-9493

常務取締役 三澤政興
(高校18回卒)

不動産コンサルタント
ファイナンシャルプランナー

底辺と言われている人達から、可愛がられ、しごかれ、教えられ、学び、僕の中の何かはつきりと変えられた。そして、僕が山を下りる気になったのは、そのオヤジさんからこう言われたからだ。『おまえは俺達のような者をすげえって言うが、こんなのは五十からだってなれる。こんな所におまえみたいなのは余分だよ。でもな、余分もたいがいにはしないと本分になちまうぞ。十八っっちゃあ若いんだ。夢があるだろう、それを追わなくてどうする。・・・学校もいかも知れんが、才能のあるやつに肩書きはいらねえだろう。才能のねえやつが肩書きを欲しがるとんだよ。』そして、暫くして「よし！これからは肩書きのいらぬ世界で生きてやる！」と僕は決心をして山を下りた。

久し振りに家に帰ると、母は夕食の用意をして待っていた。子供の頃から、物事の報告を親にすることをあまりしてこなかった僕は、思春期の頃からは特に母との会話がなかった。その日も黙って食べていると、母が独り言のように話し始めた。「実はな、おまえが遊ばせてほしいと言った時、いいよって言ったのは、渡辺先生に言われていたからなんだよ。卒業式のあった日に、先生が母さんの所にやって来て、キチは何か考えているよだから、もし彼が何かやりたいって言うてきたら、お母さんが反対したいことでも賛成してやってくれないかって。だからあの時母さんは、いいよって言ったんだよ。僕はそれを聞いて、愕然としてしまった。あんなに嫌っていた先生が、そんなことを言うてくれたいなんで・・・先生が僕を叱つてくれて殴つてくれたことは、本当に心から僕を心配していたからであり、あれが教育者として先生がしてくれた純粋な愛の鞭だったのだということ。僕は初めてその時に分かり、県陵時代の自分の態度を、心から恥じた。その後、僕は木彫の道に入り、歌をやるようになり、ものも書くようになり、今のきち兵衛となった。もし、あの時に先生のあの一言がなかったら、母はきっと反対をし、そして僕は今の僕にはなっていなかっただろう。そう思うようになってからは、いつかサプロー先生にお会いしたら、あの県陵時代の無礼をお詫びして、あの一言に心からお礼を言わなければと思つてきた。でも、いつの間にか時が流れ、あれ以来お会いすることなく、三十年という長い無精が経ってしまった。



今回、久し振りに母校を訪ねるにあたって、僕は、生徒達の前で率直に生い立ちと青春を語り、この話もして、たとえ間接的となつても、サプロー先生にお詫びとお礼を申し上げたかった。当日、先生は講演後の記念パーティーに出席して下さい、僕は、やつと念願の思いを伝えることができた。そして、その

式次第の中で、当時の三年E組担任として紹介され、挨拶をされた。「・・・本日はご招待を頂き、誠に有り難うございます。三十年といえば本当に長い年月です。その時に生まれた子供が三十歳になるのですから。今日私は、三十年間大切に生きてきた宝物を持つて来ました。後にそれを回しますので、どうぞご覧下さい。・・・皆様本当に御苦下せ、その謹厳実直さは、昔と少しも変わっていないかった。先生が持つていらした宝物は、僕らが卒業時に残した先生への寄せ書きのアルバムだった。それは、生徒一人がページを担当し、そこに自分の写真を張り付けたり、先生へのお別れや感謝の言葉が記されたものだった。僕のは一体どんなのだろうと、恐る恐る自分のページを開けて見た。するとそこには、たった三行の文句がそっけなく中央にこう書かれていた。

「私は問題児でした。問題児とは、親にも教師にも解けない難問を提出する優秀な良い子である。」

県陵時代は僕にとつて、やはり恥ずかしい青い春だった。

健康ですか！
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

杉並区久我山5-8-17 (京王井の頭線久我山駅前)
TEL.03-3332-5725 (予約制)
院長 久保田昇子 (高18回卒)

AMG アート・ミュージアム・ギンザ

マネージャー 中藤 勝
AMG学芸員 (高校16回卒)

〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-12ぎょうせいビル1階
TEL・FAX 03 (3571) 2285 / 会場直通03 (3572) 7430
高島屋ギャラリー 045-311-1251

30〜50期生の今

最近考えていること

甲斐 真由美 (高48)

"If you go long enough without a bath, even the fleas will let you alone." (長い間風呂にも入らなければ、蚤さえたからなくなるだろう。) Ernie Pyle "Here Is Your War" 46.

初めてこの文を読んだ時、また日本語訳を読んだ時すら何のことかわからなかった。だけど、これらが意味する事を知った時この言葉は私の大好きなそして憧れの言葉となった。

周囲の思惑など気にしないで自分に興味がある事を長年続けていけば、やがてその人なりの魅力的なブランドができる。そうなればもう世間という蚤もたからなくなる。

お風呂に入らないとか蚤だなんて汚いなあと思っていたのにこんなに素敵なことを言っていたなんて。このギャップも好きになった理由だ。

自分を好きになるとか、自分に自信を持つということは簡単なことのようにだけ案外難しい。つい他人と比較して落ちこんだ

り、周りと一緒にだということに安心する自分がある。少しずつでいいから自分に自信を持てる自分になりたい。これが私が最近考えていること。プラダやグッチにも憧れる私には程遠いことのようにだが、いつか私なりのカラーが持てると思っている。

今思うこと

古池 誠司 (高38)

風が十字に荒ぶれ狂う信濃真中(ただなか) 松本平……ふと口ずさむことがあります。卒業して今年で十三年目になります。が、この校歌をはじめ、応援歌、県陵祭等鮮明にあの頃が甦ってきます。中でも雨の日も風の日も緑のネットに囲まれた狭いグラウンドでのフリーバッティング、ノック、練習試合、泥まみれになりながら毎日白球を追いかけたいことが一番の思い出として浮かんできます。

校舎が新しく近代的になったとか第二グラウンドが出来たとか風の便りにいろいろ聞いておられますが、なかなか見にも行くことも出来ず今日に至っています。縁あつてか現在松本に本社のある会社に勤めておりますが、

神奈川県厚木市にいます。帰省するのは盆と正月の年二回程度ですが、車を運転しトンネルを抜け正面に北アルプスの頂が見えるとほっとします。時間が経つのは早いものですがこの瞬間逆戻りしているような錯覚すら覚えます。もう一度楽しかった学生時代に帰ることが可能ならばと思いきうすることがあります。

今でも「三大精神」(「弱音を吐くな」道を闊歩せよ)を教訓とし生活を送っています。最後になりますが、野球部甲子園出場の吉報を待つております。

「伝統」

片瀬 透 (高31)

高校卒業後、大学生活を東京で送り松本に本社がある会社に就職、仙台で丸十二年を過ごし三年前こちらへ戻って来ました。時の経つのは早いもので、信州を離れ、早二十年が経とうとしています。

こうした中、仕事の関係もあり多くの県陵の先輩や後輩と時間を共にさせて頂いておられますが、彼らからは、年齢に関係なくある共通したスピリットを常に感じていきます。そしてその基

となつているのが、多感な青春時代を共にした我々の「三大精神」であり、ここから様々なものが流れ出て来ているのではないかと私は考えています。この「三大精神」は小松武平先生の遺訓と聞いておりますが、これが七十数年連続として我々の精神に引き継がれているのです。本当に驚くべき事です。先生は当

校創設時イギリスに範を求め、自由を最大限に尊重した学園作りを目指したといえます。サッカーを校技として取り入れたのも彼だったそうです。時は大正時代、時代を先駆し、かつ子供達に「紳士たれ」と夢を唱えた。当時の若者がこれに感銘しない訳がありません。そして時代を越え、このスピリッツを今に引き継いできた「モノ」ではなく「精神」の伝達、まさしくこれが我々母校の「伝統」なのではないかと思っております。

私も叔父の姿に惹かれ「県陵を選択しました。そして今でも苦しい時辛い時、この「三大精神」が私を救ってくれます。これからもこの伝統と周囲の方々を大切にしていきたいと強く思っています。

松本県ヶ丘高校、県陵よ永遠なれ!

祈る!! 盛会

東京サブロク会一同

(高校13回卒)

HUMAN・HOUSING・COMMERCIAL-ART

URBAN SPACE 一級建築士 大蔵 治
DESIGNING ROOM

(高校17回卒)

建築設計監理 大蔵建築設計事務所
松本市宮洲1丁目11-18 TEL0263-32-1960(代)

出光興産特約販売店
信光石油株式会社

取締役社長 夔 奉 邦
(高校16回卒)

前・松本県ヶ丘高校PTA会長

〒390-0805 松本市深志2丁目2番9号
電話(0263)35-2525 (代) FAX.(0263)36-7448
営業所 島内・塩尻・大町・白馬

25期生の今

県陵に感謝する

赤沼 清隆 (高25)

私は、高校25回卒業生です。そして今年、卒業して25年目振り返ってみると、あつという間にすぎた25年間だつくづく思うのです。私も妻も、県陵生でした。今年、息子が高校生になったこともあり、我が家の団欒では、私たちの高校時代と現在の高校事情の違いなどを話し合うことが多く、懐かしくタイムスリップする機会が増えた。特に印象深くあるのは、我々が高校一年生のとき、制服の自由化が実施された。全校生徒が体育館に集まり生徒総会を行い、自由化の是非について、3年生中心に活発な意見のやりとりをしていたこと、そして自由化が決まった瞬間に、体育館中に座布団が舞っていたことを昨日のように覚えていて。自由という言葉は、とてもすばらしい響きを持っていて。また、3年間毎日毎日サッカーボールを追いかけてきた生活は、人生の価値観の素を与えてくれた。今年、ワールドカップに日本が初めて出場



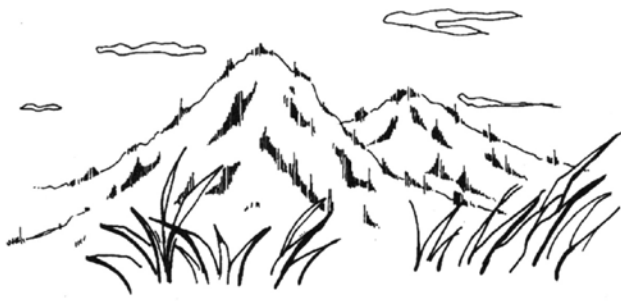
する記念すべき年だ。とても、大きな感動を与えてくれたこの事も、高校時代の夏の暑いグラウンド、冬の凍ったグラウンドでの厳しい練習を思い出して、感動を倍増させてくれる。しかし、ここ数年県陵サッカー部の全国大会出場の声を聞けないのは非常に残念なことだ。私たちの高校時代を息子たちと話すたびに、数々の思い出と教訓を与えてくれた県陵に、改めて感謝している。

東京同窓会によせて

高島 知由 (高25)

県陵東京同窓会にはじめて出席したのは、十二・三年ほど前だったと記憶しています。「仕事上知り合った県陵の先輩に勧められた」と友人のK君から誘われたのがきっかけでした。東京のど真ん中で「信濃の国」で始まり「風が十字に」で幕を閉じた会では、サッカー部が蠅ヶ崎に敗れた?という私の卒年では信じられないニュースもあり懐かしさと驚きの二時間でした。このところ一年おき位に参加していますが、新卒者から二中卒の大先輩まで、世代を越えて多数の卒業生が参加する盛大な会の割には、私の年齢の上下数歳はほとんど出席者がなく寂しい限りです。先述のK君も九州に転勤となり、この年代は現場の将校として奮闘されている方が多いのでしょうか。昨年松本で二十五年ぶりの同級会がありました。大半は地元で活躍していました。また、数年前知り合ったJ公団のM大先輩には大変お世話になり、常々「大道を闊歩せよ」と叱咤激励されていますが、未だに同窓会では行き

違いです。私が中信地区に住んでいたのは県陵在学中の三年間だけですが、異郷においても暖かく迎えてくれる同窓生及び同窓会に感謝するとともに、東京同窓会が末永く続くよう微力ながらお手伝いをと考えております。首都圏にもまだ、H銀行やK薬品をはじめ、埋もれている同窓生が多くいると思いますので次回は皆さんで引っぱり出してさらに盛大な東京同窓会といたしましょう。



有限会社 伊藤薬局・YSIとう

代表取締役 伊藤 悟 (高校20回卒)

松本市元町 2-2-15
TEL (0263) 32-0522
FAX (0263) 33-1576
伊藤携帯 080-329-1394

(松本テニス協会・県陵テニス部OB会 事務局)

(株)横山不動産鑑定事務所

代表取締役 横山 正 (中学13回卒)

不動産鑑定士

東京都板橋区大谷口北町46-12
TEL (03) 3974-5431 (代)

税理士 飯沼英男 (高校19回卒)

飯沼税務会計事務所
(株)ハイファンドクロス：代表取締役

TEL.03-3269-8249 FAX.03-3269-8289
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-66 上ビル5F

20期生の今



ふるさと松本
第31回実行委員長

青柳 善久(高20)

四月十八日(土)

早朝、右にうつすらと頂に雪を残す北アルプスを見、左に高瀬川のキラキラと光る水面を新緑の木々の間から、チラッチラッと見、車を有明から松本へ走らす。フロントガラスの前にも山、自然の中へダイビングして行く気分。「松本に住んでいて、良かったな」一心の中で、背伸びをしている気分です。40年来の友の子供もなんと県ヶ丘高校の一年生。なんとなくうす笑いを浮かべて30年ぶりに会える学友の思い出が頭のかたすみよぎります。今日は高校創立記念日。父と母が、東京から松本に疎開をして、母と子供三人が松本にそのまま住む事になりました。

多感な頃、本当に(多汗)な高校三年間、忙しくて何で一日は二十四時間しかないんだと悩んだ時代です。今は、実家も墓も東京に移していますが、気の合う友と過ごす一年に一度の旅行は松本弁で声が囁れる程大声で話します。

卒業後、東京同窓会を父の命令で手伝うようになりビックリ。なんと父は中学一期生の一番に名前が出ているではありませんか。そう言えば訳もなく職員室に呼ばれ(?)サッカーの渡辺三郎先生に「おまえの親父には世話になったよ」と頭をこづかれた思いがあります。

先輩より受け継がれた東京同窓会も三十一回を迎え、我々二十期が担当する事になり「東京県陵祭」燃えたるファイヤー・ストームをイメージして、楽しくやろう、自分達の方向性を持つてやろう、と言う事になりました。私たちは団塊の世代の終り。ニューファミリーの終り、次の時代へ送るパイプ役の時期であります。

東京同窓会も次へのス

トップへ移す役割をしなければならぬと思えます。今期には東京同窓会の名簿も整理され発刊になる予定です。一年に一度この会が東京で、校歌と信濃の国を年代を超えて歌える事を若い卒業生に確実に認識してもらう為に、一回でも参加してもらい、努力をしたいと思えます。一度も学校では言葉を交わした事のない友と話すのはこんな機会しかないのです。気楽に、楽しく。カンタンに。

東京県陵祭にむけて
第31回副実行委員長

栗山 牧雄(高20)

学校を卒業してから、あつという間に30年が経ってしまった。つい昨日語りあつた紅顔の美少年も既に白髪の翁となり、第一線を退いた者もあれば、益々活躍の場を広めてノーベル賞候補に推されている君もいると聞く。しかし我々には最高度に燃焼していた



祭 陵

いた縣ヶ丘高校時代がいつの日も凝固されておわり、たとえ路上で

はったり会ったとしても、いつでもその凝固物はとけ出し我々の胸を充分にあふれる様々な思い出をみたくしてくれる。この大事な時間を共有した連帯感を今度「東京県陵祭」において更に大きな炎としたいと考えている。そうはいくものまだまだ諸事に多忙でなかなか準備に使える時間も少ない。そんな厳しい中で有志の方々が様々な分野で目に見える努力を続けていてくれることを深く感謝したい。語り尽くせぬ色々な事も、6月19日に先輩同輩後輩恩師の方々と一堂に会することにより、多事多難なこの時代にあつても大道を闊歩する縣陵精神を確認し合いたい。

和合 治久(高20)

生き抜くことを考えて 県ヶ丘西側の美しいカラタチの生垣が妙に懐かしい。毎日、アゲハチョウの食草となるカラタチを採取しては帰宅していた。当時、昆虫種の完結性に興味を抱き、人工交配でアゲハチョウ族の種間雑種を作り、雑種の生まれる程度から種間の近縁関係と進化のあり様を真剣に考えていた。受験勉強なんかそっち

県陵倶楽部20

卒業30周年記念事業
「母校愛のリレー」実行委員会

実行委員長 佐藤兼平
実行委員一同

株式会社オサダコーポレーション
代表取締役 長田茂雄 (高校20回卒)
〒390-0303 長野県松本市浅間温泉1-36-7
TEL (0263)45-1111 FAX (0263)46-3426

株式会社元庄屋
専務取締役 成田昭廣 (高校20回卒)
TEL (0263)26-3717
FAX (0263)26-3976

掛川税務事務所
税理士 掛川有一 (高校20回卒)
事務所 〒390-0836 松本市高宮北1-6
TEL 0263-26-6083
FAX 0263-27-6105

長野県サッカー協会
副理事長 上條恒嗣 (高校20回卒)
事務局 〒390-0804 長野県松本市横田4-1-2
TEL・FAX 0263-39-2655
連絡先 TEL 0263-35-4483(自宅)
TEL 0263-25-6033(勤務先)



のけである
 今こうして高校時代を振り返ると、よくぞこれほどハングリーに好きな研究にだけ没頭できたものかと思議に思えてならない。「悔いなし」である。

そんな私は今、昆虫を通してヒトの健康を考える立場におかれている。昆虫にはヒトの健康を支えるリンパ球や抗体が生まれつきないのに、なぜ生存できるのか。きつと免疫能を支えるものすごい防御因子があるにちがいない。そんな仮説を持ち続け二十年以上も生体防御研究にのめり込んでしまった。

昆虫の体液にはセクロピンやアタシンと呼ばれる細菌を殺す抗菌蛋白質があり微生物感染を防ぐことができる。抗生物質を自力で作る異物を排除できるのだ。これはすごい。もつとすごいのは、この遺伝子を野菜に組み込み、野菜に昆虫の抗

いのは、この遺伝子を野菜に組み込み、野菜に昆虫の抗



菌蛋白質を
 作らせると、野菜に感染症を引き起こす病原体を排除できるのだ。つまり農業を必要としない時代がそこまで来ていることを意味している。

こんな研究を続けていると、エイズで苦しむ患者を救ってあげたくなる。ヒトにはないエイズウイルスを殺す防御因子を無脊椎動物で見つけてやろう。発見できれば、これはもう医薬品だ。夢はふくらみ心が弾む。

昆虫の防御研究から、アレルギー抑制法、ガンの免疫療法、そして魚のワクチン開発の研究にまで取り組むに至っている。

こんな私を育ててくれた土壌が果陵にはあった。その土壌の肥しは「弱音を吐かず大道を闊歩せよ」の精神である。人々の役に立つ人間になろう。人々に必要とされる人間になろう。人々に喜びを与えられる人間になろう。そんな心が底辺にあり、私を自然と動かしてしまう。これからも「生きていく」存在で

今も生きていく校訓
 浜 勝 (高20)

さすがに今は手元にはないのだが、かなり長い間、果陵の校訓が書かれた名刺状の紙を持っていた。

それはいつ頃もらった物なのかも定かではないが、恐らく在学中のことであつたらうから、随分大切にしていたことになる。

- ・ 質実剛健であれ
- ・ 大道を闊歩せよ
- ・ 弱音を吐くな

卒業以来三十年、大抵のことは忘れてしまっているが、この校訓だけは心に残っている。

今、人生の半ばを過ぎ、社会でも家庭でも、責任をもって生きなくてはならない立場に立っている時だからこそ、強く感じるのだろうか。

私自身は、今の教員という仕事に就き、二十六年が過ぎた。教育に関しての報道が連日のよ

はなく「生きていく」存在でありたいと強く願っている。

うにマスコミで取り上げられているのは周知の通りである。こうした時代に、教育現場で一校を預かるという立場に立つと、ともすると、責任の大きさに自分自身が潰れそうになることもある。

そんな時、私が拠り所にしてきたもの一つに、果陵の校訓があつたように思える。勿論、事ある毎に校訓を唱えて困難を乗り切った、などということではないのだが、冬でも下駄ばきで通したあの頃の生活そのものが質実剛健であつたのだと思う。

果陵の校訓を思うにつけ、今日の青少年を巡る問題の根底にあるのは、「自尊心」を育むことが欠如していることであると強く感じる。凶悪な犯罪を犯す者に欠けているのは、罪の意識ではなく、「自分に対して、しっかりとせよ」と語りかけてくる自己内部の他者の存在」であると述べている学者がいるが同感である。

果陵の三つの校訓は、果陵生として誇りをもって自分の人生を生きよ、と語りかけている。

私自身が、まだまだこれから先の人生でお世話になるであろう、生きていく言葉である。



人を活かすシステムづくりのP2集団
現代マネジメント研究会
Management Development Center
 (企業をのばし人を育てるコンサルティングで28年)

経営人事エキスパートコンサルタント **小松 勝** (高校20回卒)

(法人名:株式会社エム・デー・シー) 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-3-8 TEL 03-5280-2860 (代) FAX 03-5280-2862

15期生の今

東京同窓会に思う

渡邊 洋子(高15)

今年もまもなく東京同窓会の季節がやってきます。間違いなく毎年六月に開催されるということは自分の気持ち次第で毎年参加できるといううれしい行事です。私が東京同窓会を知ったのは10年程前のことでした。はじめて案内のハガキが届いて、同年の友達に問い合わせすることも来ずに参加しました。残念ながらその年は同年の友には会えませんでした。三百名を超える同窓生の参加に大変感動しました。あの年はロビーになつかしい県陵の沢山のパネルが展示されていたのを覚えています。そして、その時、同窓会の実行委員が卒業30年目の先輩方々であることを知りました。

の発行と大変な中で沢山の同期生と会う事が出来、諸先輩の協力のもとに無事終了し、次年の後輩へ引き継いだ時のうれしかったことは忘れられません。そしてこんなすばらしい県陵東京同窓会の伝統を守り伝えてくれた沢山の諸先輩に感謝しています。又、関東に住んでいてもお互いに忙しかったりで、会うことの出来ない先輩後輩に年一回でもお会い出来る会があるというのもうれしい事の一つです。自分達が開催してみても、いかに大変かとわかって以来、出来る限り参加して協力したいと思っていますし、このすばらしい、県陵東京同窓会にガンバレコールを送りたいと思っています。

今思うこと

西澤 勝男(高15)

第十五回生として県ヶ丘高校を卒業後信大教育学部を経て、現在神奈川県海老名市で小学校教員として忙しい毎日を送っています。現任校は相模川によって造られた平野の真ん中にあります。児童数三五九名の学校です。学校から西の方向に丹沢や大山が見えます。特に遥か彼

方に小さく覗く冬の富士山の白さは、格別です。

子ども達の朝の元気な挨拶を聞き、仲良く遊ぶ姿や汗をかいで掃除をする様子からは今社会で問題視されている青少年の非行が信じられません。

「ナイフ」を使用した殺傷事件や覚醒剤乱用・女子高生の援助交際等まるで無縁のような気がしてきます。

しかし、我々が育った時代と

異なり、子どもを育てる社会や家庭・親の対応が変わってきたことは事実です。

小子化・核家族化・都市化による人間関係の希薄化、過度の受験競争やゆとりのない日常生活、これではストレスにより豊かな人間性を育むことは困難かもしれません。

せめて、今関わっている子ども達が社会の役に立つ人間に成長してくれることを願う毎日です。

アルペン杯争奪「ゴルフコンペ」成績

第三八回コンペは平成九年十一月十三日(木) 越生GCで開催しました。

二十八名の東京同窓会会員が参加し、優勝は矢口弘司朗氏(高八回)がベストグロスの八一ネット六九で優勝、準優勝は花岡俊氏(高七回)でグロス八三・ネット七〇の成績でした。

第三九回コンペは十年四月九日(木) 越生GCにて開催しました。当日は生憎の雨天にも拘らず二名の参加者により開催し、優勝は中澤郡司氏(高五回)がグロス八九・ネット七七で優勝、準優勝は花岡俊氏がグロス八八・ネット七

八の成績でした。

次回の第四〇回は記念大会として十年十一月十三日(金)に盛大に開催を予定しております。

参加出来ます方は左記へご一報下さい。追って詳細を連絡します。

なお、アルペン会は毎年四月十一日の二週目の平日に開催しております。個人でもグループでも結構ですので、登録して頂ければ毎回連絡します。

〒三五九〇〇一四

所沢市亀ヶ谷一〇九一四

濱一昌(三一会・高八回)

大都会のオアシス、憩い、くつろぎ、やすらぎの「雅」馬刺、蜂の子、おやきに舌つづみ、ふるさと信濃を思うひとときを。

料理 雅

杉山雅子 (鎌ヶ崎高出身)

東京都新宿区西新宿1-15-10 エスアイシービル3階

電話03-3348-6677

電話03-3348-6670

松本市長

有賀 正 (高校2回卒)

〒390-8620 松本市丸の内3-7 TEL.0263-34-3000(代)

10期生の今

ふるさと雑感

久保田 敏和(高10)

中央道から分岐して、長野道をしばらく走ると左前方に常念岳の秀麗な姿が目に入って来る。この山を眺めると、その都度、朝な夕なに仰ぎ見て過した40年以上も遡った少年の頃のつらく貧しかった日々、なぜか記憶が辿り着いてしまうのである。故郷との距離も、現在では随分せばまったものだ。「スーパーあずさ」で2時間30分、自宅から車でも国立インターから高速道を飛ばせば、こちらも3時間足らずで到着出来る。

しかし、わが思いの中では昭和33年の早春、就職のため東京へ行く故郷を後にした松本06時00分発、新宿13時25分着の普通列車の旅が今も郷里との時間的へだたりとして留まっている。この思いも、故郷を離れて久しい者のノスタルジアであろうか。



数研部の思い出

米山 寛(高10)

昭和三十三年卒業ですので既に四十年が過ぎ去りました。二年生より数研部に所属したのですが、県祭の思い出等を書いてみたいと思います。

同好の者同志、先輩も後輩も区別なく対話の機会が出来、特に年一度の県祭は日頃の研究?の成果を発表する暗れ舞台であり、お祭り気分も手伝って楽しい期間であった。

皆んなが興味をひきそうな問題を選んだ時は観客も多く、得意になって説明にも熱が入った。他校生も多く、逆に問題を出されたり、時には考えの浅さをつかれたりする事もあったが、それもこれも結構楽しい思い出である。

図書館から題材を探して持ち寄り、解析方法につきお互いに考えを出し合う。例えば、シャロックホームズが悪漢モリアティールをアルプスの山中に追いつめる話。確率的に高い岐路を選び又はその裏をかく。ばかばかしいが自分の計算と合った時は等が当事者になった様に有頂天になっていた。

中には有意義な問題もあり、九去法は実社会に出てからも検算に応用出来、大いに役立つものである。今はパソコンによるため、その必要性も薄れてしまったが。

一浪後、信大工よりいすゞ自動車に進み、その後現在の電気工事会社に移って十四年が経つが技術畑を歩む方向付けがこの頃培われたのかもしれない。

思いがけず学生当時の事を振り返る機会を得ましたが、数々の方々、母校の諸行事等が懐かしく思い出されます。

おわりに御指導頂いた先生はじめ諸兄の御健勝を、横浜の地より祈願し、筆をおきます。

卒業40周年の回想と次なる「出発の会」提案

滝澤 昌史(高10)

背番号「三」、読売巨人軍長島茂雄誕生と同時に県陵の学窓を巣立った。「華の33年組」四十年が過ぎ、今はこの二年以内に目

出度く六十歳を迎える程の歳月を経て、サラリーマンなら定年を控え自営経営者なら円熟を極めつつ次なるステップに臨む境



地に入った。卒業当時六十歳のイメージと違い自分達がそうやってみると、まだ学生気分も抜けず一種の稚なさ純真さにたぎる情熱も持ち合わせ、当時との認識のズレを感じるこの頃である。この四月に同期生のゴルフをした。何年来の懸念だったのがやっと実現した。皆仕事等の事情もあって二組しか集まらなかったが、各々業界の中で磨いてきたゴルフの技もさる事ながら、同期同窓生が歩んだ道、苦労話うれしかった事等、色々のエピソードと共に試練を重ねた話を聞き、人生の厚みを実感した。本当に楽しい一日を過ごさせて頂きました。今年卒業四十周年記念となる年、この機会に秋には東京地区で同期生に集まって頂き尽きない話の輪を拡げ、思い出深い同期会を盛大に行いたい。四十周年を祝い四十年目に向けて、新たな「出発の歌」(同期上条恒彦氏の歌)を声高らかに合唱しましょう。

祝・第31回東京同窓会

七日会一同

- | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 飯田 | 法夫 | 市川 | 修一 | 江原 | 久 | 大蔵 | 男 |
| 長田 | 茂雄 | 帯刀 | 哲夫 | 川船 | 広秋 | 佐藤 | 兼平 |
| 辻 | 喜夫 | 山崎 | 清治 | 青柳 | 善久 | 猪爪 | 博 |

労働大臣許可

(株)さくらマネキン紹介所

専務取締役 柿本幸夫

(高校20回卒)

横浜市中区野毛町1-52
キャッスル野下中央317号
TEL 045-231-0292(代)

5期生の今

旧きよき時代

川上 文男(高5)

昭和二十五年、白線二本の学帽をかぶり県陵生になりました。当時は旧制高校のパンカラ風風が残っていて、その一つに太い白い鼻緒の高下駄通学する者が多かったです。松本駅から真直ぐな市内電車通りを凍りついた路面でも、颯爽と歩いたものです。また、県営グラウンドでの陸上部の練習を終え、夕方の通学列車(SL)に乗るために街中を高下駄でガチャガチャ大きな音をたてながら走り、とび乗った光景は、さぞ滑稽だったろうと思います。

運動会で「二百? m自由形」という種目があって、どういいう手段で走ってもよい競技でした。私は純粋に走ったのですが、最後のコーナーを出てしばらくはトップで「勝った」と思ったのも束の間で、馬と自転車に抜かれて、くやしい思いをしたことも忘れられない一つです。出身中学校単位の通学区のコンパが盛んでした。一年〜三年生の身近な交流の場でした。年

に何回か村の公民館を借り、先輩を中心に(時には顧問の先生も入って)、口の中が燃えるような辛いカレーをつくったり、内緒で「赤玉ポトワイン」を飲み、深夜にわたって応援歌をうたったりして、大いに苦いエネルギーを発散したものです。一年の夏休み、コンパ仲間と上高地の信大の大テント(五十人用)をベースにして焼岳・西穂高岳へ連れて行ってもらったのが、きっかけで登山の魅力にとりつかれてしまいました。以来毎年夏にはアルプスを中心に山登りを続けています。

本当に旧きよき時代だったと思います。現在は定年退職して四年目、中野区教育委員会指導室に嘱託員として元気に勤務しています。

二人旅

藤巻 義久(高5)

私達夫婦は、夫婦で外国旅行をするようになって、既に十数年になる。

今年の八月上旬には、ホメロスが「オデュッセイア」の中で「葡萄酒なす海原・・・」と唱ったエーゲ海を、クルーズ船で十

日間にわたり旅行する。

十年前のギリシャ・トルコ旅行では、旅行日程の急な変更で、ギリシャのピレウスからエギナ島への一日だけのクルーズとなったので、今回のエーゲ海クルーズは、今から楽しみである。

私が、昭和四十九年、約四月間にわたり監督官として乗船した巡航見本市船・新さくら丸で世界一周し、船旅の良さを知り、夫婦で、まずエーゲ海から船旅をしようとして約束してから、二十五年目に実現した船旅である。

このエーゲ海の船旅にはあるが、中国の揚子江・三峡下り、上流の重慶から中流の武漢までの船旅を夫婦で経験してみた。

私達夫婦は、賑やかな都市を観光して歩くのは余り興味がなく、雄大な自然や、古代の遺跡を尋ねるのに興味がある。

古代の遺跡を訪ねる旅で、いつも感じるのは、その壮大な遺跡を創り出した人間の偉大さであり、それを戦争等によって短期間に無惨に破壊してしまう人間の愚かさである。

そして、また、ヘラクレイトスの言った「何人も、同じ水でその足を二度とは洗ひ清められ

ない。何故ならば、全ては流転して、変わり行くから。」との言葉の否応なしの実感である。

私達夫婦とも、杜甫が「人生は、七十、古来稀なり。」と言った七十歳までは数年もあり、健脚を誇れるので、未だ訪れていない雄大な自然や古代の遺跡を夫婦で訪ねたいものである。

カラオケ

高山 広伸(高5)

長谷川慶太郎の「麻雀、カラオケ、ゴルフはおやめなさい」と言う本がある。「やめる」必要はない、カラオケが好きだからである。

唄っている時、回りの人は旨くないと笑っていると思うが、歌を楽しんでいてくれるような錯覚をおこすのです。自分は音痴であると思っ唄はない人でも、楽しんで聞いてくれるような気がしてくるものです。私は今では音痴と言っている気弱な彼らを共に唄はせることに興味すらもっている。

一日中よく歩く私なので今更ゴルフはと、現在中止だ。恐らく今後もやらないことだろう。麻雀は空気が非常に悪い場所と

言うイメージで時々旅行などの時する位だ。又上手になろうと言う気がないものだから、上達もしない。

カラオケで一つの世界が広がる。好きな人との交流は実に楽しい。然し仲々時間が増えないこれが悩みの種である。

結論から言えば、私の現在の楽しみはカラオケに尽きる。従ってこれに興味のある人と歌うことが、この不景気の時代を咽い流すことであると今日も心に留めて夜の帷へと急ぐのである。



旧制中学先輩の今

雑感

松岡 博一(中13)

紀元二千六百年(昭十五年)かく呼ばれた年の卒業以来既に五十八年も経過した。

振り返れば村から中学に進む者二名、それが実状の社会であった。町村合併により小学校も既になく、会うべき友もない。田舎は整然とした稲田に変わっている。今様浦島の思いがする。

中学は朝礼に先ず皇居遥拝に始まる。どんな時代であったか想像出来ると思う。軍事教練の帰りに松高の角あたりから大沢さんの吹くラッパに鼓舞されて帰校した事が印象に残る。加藤君(歯科医)が出征の折、新宿駅頭で一人校歌を歌い送る、変な思いつき。

臼井吉見著「安曇野」の新宿中村屋の原点であるパン屋は隣町、東大正門前にあり、柔道の夏期訓練で初めて上京、泊まった下宿屋は今もあり、患者であるのも不思議な縁の地である。

友人夫妻(越川園科)が全国捜がしたすえ、移り住んだのが穂高の町である。大逆事件と明

科、オウムと松本、故郷は不可思議な所だが、朝夕眺めた有明山はなつかしい。

サッカーが代表出場と知れば校歌を全国放送させたいと願ひ。全国高校、進学一覽が出れば頑張ったかなと関心を寄せる。

大会実行委員の皆様へ感謝申し上げ、母校の発展と同窓会の隆盛をお祈り申し上げます。

内山 重義(中10)

東京同窓会三十一周年を迎え誠にお目出とうございます。小生は昭和五十一年十月二十二日の第十三回東京同窓会に出席したのが初めてだと記憶しております。その時の会長さんは中学第一回卒の樋口和博先生でした。

先生は今も現役で法廷にてご活躍しております。当時の同窓会はかなりの盛況だったと記憶しております。以後毎年の同窓会にはできる限り出席して参りました。小生は初代小松校長先生当時の第十回生で小松先生のご子息とも同級生でした。東京在住の同級生は現在十五名になりましたが同級生会は毎年やっております。参加者は八名前後です。又東京同窓会の出席には同

級生ではいつも小生一人だけで誠にさびしい気が致します。年をとると田舎の世代も変わりまして冠婚葬祭以外は殆ど帰りません。そんなわけで同級生会や東京同窓会が田舎を語り又学校あがたを語る唯一の機会になっております。松本本部からの会報は年一回だけですが二回位にして貰いたいと思っております。

東京同窓会よりお願いできないものでせうか。最後に東京同窓会の益々のご発展をお祈りして擲筆します。

東京同窓会名簿の発刊にあたって

東京同窓会名簿編纂委員長 濱 一昌(高8)

先般の東京同窓会幹事会において、新たに東京同窓会名簿の発刊が決議され、私が委員長の大役を仰せつかった次第です。

一、名簿発刊の経緯

東京同窓会の名簿は昭和三三年五月が最初発刊と思われ。当時は資料不足にも係わらず世話役として中学二回の三溝貞雄先輩がご苦勞なさって三八頁(七八九名の会員数)でした。

第二回は昭和四六年九月に東京同窓会の事務局をお願いしていました丸山袈裟春先輩(中学三回)のご尽力もあって九五頁で発刊されました。

第三回は昭和五一年一〇月に故藤沢金雄先輩(中学一〇回)の協力もあって一一八頁で発刊されました。

第四回は昭和五九年六月山岸光臣先輩(高校三回)を編纂委員長に一一六頁(約二〇〇〇余名)で発刊されました。

前回の発行以来一四年が経過し内容も大きく変わっているのを改訂することになった次第です。当時は資料の整備にも多大

な時間を要し名簿作成にご苦勞が多かったことと推察します。

幸い今回は本部同窓会が平成六年に名簿を発刊し、毎年内容の訂正を進めておられますので、このデータを活用させて頂く予定で検討を進めております。発刊日は平成一一年の春を目標に準備を進めてまいります。

二、協力のご依頼

東京同窓会の運営資金に余裕がなく、名簿の発刊費用につきましては、同窓生各社・各位の広告の協賛が是非必要ですので、ご協力よろしく願ひいたたく、追ってご依頼させていただきます。

また、発行名簿の購入につきましても同窓生皆様の購入をお願い申し上げます。

出来るだけ皆様に満足して頂けるよう内容の充実に努める所存です。名簿発刊の主たる目的は同窓生相互の親睦と團結並びに相互扶助に役立つこととです。この名簿が大いに活用されることを念願しております。

ご協力の程よろしく願ひいたします。



「東京同窓会幹事会の活動」

縣陵東京同窓会新幹事体制発足す!

昨年改正された会則及び新設された幹事会及び代表幹事会運営細則に基づき、各回期幹事の推薦をお願いしてきたところ、大方の回期幹事の推薦があったので、平成十年二月二十六日に開催された幹事会において新回期幹事が承認され、併せて代表幹事が選任され代表幹事の所管が決定された。

幹事・代表幹事及び役付代表幹事の名簿は次頁記載の通りである。

我々縣陵東京同窓会の発展は、縁の下の力持ちである幹事体制の充実強化に負うところが大きく、新旧の幹事諸兄のご尽力に深く感謝するとともに、あらためてなお一層のご協力を賜うことを、東京同窓会の会員の総意としてお願いする次第である。

回期幹事の推薦を求む! 幹事会は結構面白い、役に立つこともある

しかし、回期幹事がす

べての回期に渡って推薦・選任されているわけではなく、なお一層の充実が求められている。

このため回期幹事の選出のない回期においては是非とも二名以上の幹事を推薦するよう強くお願いするところである。

また、すでに回期幹事で幹事会出席が困難な者は、同意を得た上で他の回期幹事を推薦し、辞任することができるので手続をお願いしたい。

幹事などという面倒なことはやりたくないなどと思わずに、自薦でもかまわないから是非幹事や代表幹事になっていただきたい。器用な一部の人が汗をかいているので幹事になったとしてもほとんど負担ない。負担を負うことがないばかりでなく結構楽しむことができ

仕事の面にだつて役に立つこともたまにはある。そんな幹事会や代表幹事会になりつつあるので、是非ご参加を頂きたい。

代表幹事の活躍を期待する!

大幅に若返る代表幹事会

従来の常任幹事会に替わるものとして代表幹事及び代表幹事会の制度ができたわけであるが、新代表幹事会のメンバーは大幅に若返った。

この若返った代表幹事会及び各代表幹事によって同窓会の会務が推進されることになり、その活躍が大いに期待されている。特に今回は総会担当

代表幹事によって総会及び懇親会の運営ノウハウがうまく承継され第三十一回総会及び懇親会を滞りなく開催する運びとなった。

また、五年委員会担当代表幹事によって若手同窓生に対する同窓会参加呼びかけが活発になっており、女性会員担当代表幹事による女性会員へのアプローチも進んでいる。

こうした地道な代表幹事の活動がさらに我々同窓会の発展に貢献するものと信じる。

(文責 事務局長金子信吉)

松本懸ヶ丘高等学校東京同窓会 平成9年度会計報告

皇 平成9年4月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
前年度繰越金	¥524,122	第30回総会関連費用	¥1,271,288
第30回総会関連収入		会場費	¥227,824
会費	¥2,134,000	会報発行費	¥422,227
寄付金、祝儀	¥250,000	案内状費用	¥270,724
会報広告料	¥430,000	会議費	¥38,143
イベント収入	¥28,266	通信費	¥166,814
本部同窓会より助成金	¥100,000	諸雑費	¥126,580
幹事会会費	¥216,000	幹事会等会議費	¥125,110
銀行利息	¥444	渉外費	¥60,346
寄付金	¥16,000	通信費及び交通費	¥21,060
合計	¥3,698,832	諸雑費	¥829,488
		次年度繰越金	¥829,488
		合計	¥3,698,832

平成10年度繰越金内訳

富士銀行普通預金 ¥806,926
会計幹事手許現金 22,562
合計 ¥829,488

特別会計

本会運営基金として指定金銭信託¥1,228,261-(大和銀行東京営業部)この内当期増加額は、税引後受取利息3,919円である。上記の通りご報告いたします。

平成10年5月10日 会計幹事 中町 正幸
会計幹事 金子 信吉


平成9年度会計監査報告


会計幹事より提出された会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成10年5月18日 会計監査 川上 文男
会計監査 花園 俊

卒回	幹事氏名	役員	郵便番号	住所	TEL
中 1	樋口 和博	名誉会長	157-0067	世田谷区喜多見5-21-15	03-3416-2904
中 13	大澤 清重	幹事・会長	174-0046	板橋区蓮根2-13-9	03-3966-5481
中 13	松岡 博二	幹事・副会長	113-0033	文京区本郷5-28-5	03-3811-0626
高 1	森山 修一	幹事・副会長	240-0032	横浜市保土ヶ谷区法泉1-23-9	045-351-4921
高 2	青木 秀弥	幹事	185-0022	国分寺市東元町1-22-17	0423-22-5132
高 2	堀切 競雄	幹事・副会長	341-0056	三郷市番匠免1-66-1	0489-52-6422
高 3	山岸 光臣	幹事・副会長	182-0023	調布市染池2-24-32	0424-83-2324
高 4	小林 全	代表幹事	143-0025	大田区南馬込4-22-15	03-3772-6251
高 4	大月 實	幹事	253-0062	茅ヶ崎市浜見平16-1-301	0467-83-8677
高 5	川上 文男	幹事・会計監査	166-0012	杉並区和田2-34-14	03-3419-8965
高 5	江本 行夫	幹事	211-0007	川崎市中原区上丸子天神町47-106	044-722-7220
高 6	原 伸一	幹事	338-0013	与野市鈴谷8-6	048-854-8578
高 7	桐原 俊文	幹事	171-0033	豊島区高田3-33-10-201	03-5992-1076
高 7	花岡 俊	幹事・会計監査	227-0061	横浜市青葉区桜台1-18	045-973-2012
高 8	濱 一昌	幹事長・渉外広報担当	359-0014	所沢市亀ヶ谷109-4	0429-45-6555
高 8	中町 正幸	代表幹事、会計幹事	165-0032	中野区鷺宮6-24-1	03-3998-1213
高 9	堀内 幹蔵	幹事	154-0012	世田谷区駒沢3-6-20	03-5431-3607
高 9	折井 達男	幹事	188-0002	田無市緑町1-2-6	0424-64-2959
高 10	桐原 茂	幹事	276-0046	八千代市大和田新田46-22	0474-50-8775
高 10	滝沢 昌史	幹事	188-0014	田無市芝久保町4-14-18	0424-62-4938
高 10	米山 寛	幹事	230-0076	横浜市鶴見区馬場4-21-30	045-583-3914
高 11	奥山 英毅	代表幹事、総務担当	178-0062	練馬区大泉町6-11-6	03-3925-0244
高 11	江森 文武	代表幹事、財政担当	140-0013	品川区南大井2-12-1-614	03-5493-3826
高 12	勝野 憲昭	幹事	362-0053	上尾市戸崎1-101	048-781-9131
高 12	山田 惇一	幹事	192-0352	八王子市大塚1718-5	0426-76-1637
高 12	百瀬 興一	幹事	333-0866	川口市芝6388	048-622-3613
高 13	小林 勁	代表幹事	192-0912	八王子市絹ヶ丘1-13-1	0426-35-7746
高 13	木幡 昌三	代表幹事	206-0012	多摩市貝取4-4-7-403	0423-76-2809
高 13	田尻 章	代表幹事、女性会員担当	121-0824	足立区西伊興1-10-24	03-3897-8637
高 14	林 悌男	幹事	331-0065	大宮市二ツ宮26-19	048-622-0109
高 14	中野 幹隆	幹事	233-0015	横浜市港南区日限山4-35-14	045-842-3088
高 15	吉田 勝彦	幹事	168-0062	杉並区方南1-13-17	03-3322-6507
高 15	奥原 輝男	代表幹事	214-0037	川崎市多摩区西生田5-9-11	044-955-7596
高 16	大沢 修次	幹事	241-0823	横浜市旭区善部町109-1-307	045-391-6462
高 16	松島 孝雄	代表幹事	196-0014	昭島市田中町1-9-74	042-542-8306
高 17	金子 幸吉	代表幹事、会計幹事、事務局長	151-0063	(事務所) 渋谷区富ヶ谷2-2-5-302	03-3466-2246
高 17	柳澤 壽昭	幹事	332-0016	川口市幸町1-4-19-503	048-256-7095
高 18	久保田 昇子	代表幹事、女性会員担当補	181-0002	三鷹市牟礼6-24-12-612	
高 18	三澤 政興	代表幹事、総会担当	186-0003	国立市富士見台2-2-5-603	0425-75-1996
高 19	丸山 英明	代表幹事、5年委員会担当	107-0062	港区南青山4-27-20-203	03-3797-5057
高 19	玉井 和博	幹事	270-0035	松戸市新松戸南1-339-4	047-345-0344
高 20	奥山 牧雄	代表幹事、次期5年委員会担当	164-0001	中野区中野3-47-4-622	03-3383-7663
高 20	青柳 善久	代表幹事、次期総会担当	143-0024	大田区中央2-25-2	03-3777-3963
高 21	浅香 俊	幹事候補者	110-0014	台東区北上野1-11-9-603	03-3845-2696
高 21	村越 政雄	幹事候補者	184-0011	小金井市東町3-6-3	0422-33-6616
高 21	小野 光昭	幹事候補者	216-0002	川崎市宮前区宮前平2-10-1	1-505 044-856-5280
高 21	平林 秀博	幹事候補者	262-0032	千葉市花見川区幕張6-78-19	043-273-5128
高 21	森本 正岳	幹事候補者	145-0064	大田区上池台1-44-1-503	03-3728-7593
高 22	降旗 真寿幸	幹事候補者	189-0011	東村山市恩多町3-12-4	0423-95-5873
高 22	樋勝 豊	幹事候補者	135-0016	江東区東陽2-3-5	03-3699-4672
高 23	小林 哲彦	幹事候補者	300-1217	牛久市さくら台1-48-4	0298-74-1371
高 23	小松 清路	幹事候補者	216-0022	川崎市宮前区平6-4-34-707	044-852-0292
高 23	荒木 仁	幹事候補者	157-0062	世田谷区南鳥山2-8-1-1115	03-3308-5610
高 25	赤沼 清隆	幹事候補者	214-0008	川崎市多摩区菅北浦5-7-41	044-945-6543

(平成10年5月15日現在)

OPTIC ミル メガネ・コンタクトレンズ
 店長 猪爪 雅博
 (高校20回卒)
 〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-34-3
 下北沢クリスタルベスル1F
 Phone 3485-5855

 輸入家具インテリア商品総合卸
 株式会社 東信商会
 専務取締役 青柳 善久
 (高校20回卒)



住友銀行 下高井戸支店

支店長 藤井 了助
 (高校21回卒)

〒150-0044 世田谷区赤堤4-47-10
 TEL.03-3323-0111

AGC

一人が主の「住まい」を創造していますー



大久建設株式会社

代表取締役 大槻 敏
 (高校19回卒)

〒110-0016 東京都台東区台東1-1-16
 TEL (03) 3839-1910

校歌

「若き我等」

高野辰之作詞
信時 潔作曲

一 風が十字に荒ぶれ狂う
信濃の真中(ただなか) 松本平
此の地に身を置き胸差し出だす
若き我等は体も強し
若い我等は心も強し

二 西に聳ゆる北アルプスに
朝日の輝き夕日のおい
ふりさけ仰ぎて光に生くる
若き我等は望みも高し
若き我等は理想(ねがい)も高し

三 かの犀川の流れの如く
夜昼分たず淀まず止まず
正しき方(かた)へと歩みを運ぶ
若き我等は驚いも堅し
若き我等は覚悟(さとり)も堅し

四 おのが力に伸び得る時ぞ
いざいざ我友学びに励み
行手に明るき天地(あめつち)眺め
若き我等は務をおえん
若き我等は事なしおえん

信濃健児

一、信濃健児は昔より

律儀廉恥を重んじて

剛毅敢為の性に富み

卑怯柔情を恥ずると言う

世の文明は進めども

改むべしや此の遺風

二、学問知識を修むるは

我が身の基礎を造るあり

たゞ学生の本領は

互に切磋琢磨して

急がず倦まず怠らず

勉強するにありぬべし

三、日本群山見放れば

雲の衣に雪の肌

雄姿高潔比類なく

動かぬ国の鎮めにて

尊く立てる山こそは

これ我が校の徽章なれ

覇権の剣

一、槍峰おろし身に浴びつ

白樺香る県陵に

基定めて七十余年

飛躍の時は今なるぞ

二、刻苦研鑽他念なき

剣のさえを誰が知る

若き歴史を飾るべく

我校一千血は燃ゆる

三、覇権の剣握るべく

臥薪や此処に幾春秋

過ぎし恨みをそそぐべく

いざやかぶとの緒を締めよ

昭和43年5月 県歌制定
信濃の国

浅井 冽 作詞
北村季晴 作曲

一 信濃の国は十州に

境連ぬる国にして

聳ゆる山はいや高く

流るる川はいや遠し

松本伊那佐久善光寺

四つの平は肥沃の地

海こそなけれ物さわに

万ず足らわぬ事ぞなき

二 四方に聳ゆる山々は

御嶽 乗鞍 駒ヶ岳

浅間は殊に活火山

いずれも国の鎮めなり

流れ淀まずゆく水は

北に犀川 千曲川

南に木曾川 天竜川

これまた国の固めなり



21世紀を見つめて新しい生活づくり

街づくりに挑戦しております。



東京サンロク会幹事

都市空間のパイオニア エム・ケー株式会社

東京都日野市高幡15-2 TEL.042-594-1771

代表取締役 小林 勁 (高校13回卒)